

中部ろうさい病院 内科専門研修プログラム Q&A

この度は、中部ろうさい病院内科専門研修プログラムをご検討いただき誠にありがとうございます。2018年より新専門医制度が始まります。しかしながら、研修医並びに学生の皆さんにはわかりにくい部分が多いかと思えます。今回、少しでも新制度と当院のシステムをご理解いただけるように、よく質問をいただく内容につきまして Q&A の形で以下に回答させていただきましたので、ご参考として頂き、良い研修プログラム選択の一助になればと思います。

ホームページに掲載の（PDF ファイルでダウンロード可能）中部ろうさい病院内科専門研修プログラムを合わせて参照ください。

Q1. 中部ろうさい病院の内科専門研修の特色について教えてください。

A. これまで中部ろうさい病院では全国に先駆けて、臨床推論の指導教育、外部講師を招いた教育、並びに充実したカンファレンスを初期研修医に提供してきました。後期研修では、初期研修で学んだ内容をさらに発展させ、全人的な診療が行える医師の養成を行ってきました。これら、長年に渡り積み上げてきた教育環境は、新内科専門医制度においても高いレベルの研修を提供し、将来第一線で活躍できるよう、医師としての成長のサポートが可能なプログラムと考えております。

Q2. 内科の中で複数の科で専門を迷っていますが、ローテートしながら考えることは可能ですか？

A. 内科専門プログラムには、サブスペシャリティーを決定せずに登録できますので、内科をローテートしながらサブスペシャリティーを検討することは問題はなく、当院の採用上の問題もありません。

Q3. 内科をローテーションする期間を短くして、専門科研修を多くしたいのですが可能ですでしょうか？

A. 当院では、全科ローテーションによる内科研修を推奨していますが、要望に応じてローテート期間を短くした「サブスペ重点研修プログラム」も可能な形をとっております（中部ろうさい病院内科専門研修プログラム 13 ページ目）。しかしながら、内科専門医取得に必要な症例数を最低限満たす必要があり、不足する症例についてはローテートして経験するか、もしくは足りない症例をサブスペシャリティーの研修と平行しながらピックアップして経験していただけるような平行研修の検討が可能です。将来の希望にマッチした研修ができるよう、最大限バックアップします。

Q4. 連携病院での研修期間はどのくらいですか？

A. 原則として内科専門医研修期間中の12か月になります。この中で6か月は比較的規模の大きい病院、6か月は地域医療研修を可能とする比較的規模の小さい病院での研修がプログラムとして組み込まれています。

ただし、これは原則であり、専門医研修が開始され制度が整うまでは、全体で6か月程度の研修で修了する可能性もあります。平成30年度研修開始の先生方のプログラムの詳細決定は、研修開始後になる可能性が高いと考えられますが、まだ、不確定な状況です。

Q5. 中部ろうさい病院の内科専門研修プログラムで内科専門医の取得条件は十分満たされますか？

A. 過去の後期研修医の経験した症例の実績を新内科専門医制度の症例数の条件に当てはめて調査した結果、卒後3年目までに全員が新内科専門医制度の取得に必要な症例数を経験できておりました。当院の症例数は、新内科専門医制度に対して十分な経験ができるものと考えております。

Q6. 採用試験について教えてください。

A. 試験日を設定し、面接試験を行います。1次登録期間終了後でも、採用予定人数に満たない場合は、2次登録期間中（12月16日以降）も随時2次募集を受け付けますので、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

Email: kenshui@chubuh.johas.go.jp 中部ろうさい病院研修センター

Q7. 医局に入局しなければならないのでしょうか？

A. 当院は、名古屋大学関連病院のプログラムに加え、愛知医科大学、藤田保健衛生大学のプログラム、さらには当院独自の関東労災病院を連携施設としたプログラムがあります。入局するかどうかは、各個人の希望や将来像によると思いますので、それに合わせた最適なプログラムを提供できるよう柔軟に対応を検討します（中部ろうさい病院内科専門研修プログラム2ページ目）。可能な限り相談に応じますので、不明な点や不安があればぜひ一度直接お問い合わせください。

Q8. ローテート科で時間外呼び出しなどの診療体制につき教えてください。

A. 基本的にはローテートする各科の診療方針に準じますが、各科ともに当番制を採用し、緊急対応などの経験を積んでいただく一方で、必要な休日確保した労働環境の維持ができるよう努めております。

Q9. 外来は担当するのでしょうか？

A. 内科専門研修 1 年目は、当院内科初診症例中心の総合内科外来を週 1 回担当し、広く内科的疾患を経験し、内科専門医の症例数が蓄積できるような体制を取っております。専門外来（サブスペシャリティー領域）は、基本的に内科専門研修 2 年目以降、専門科と日程を調整し担当していただきます。

Q10. 当直回数は何回ですか？

A. 2017 年度時点で後期研修医の先生の当直回数は月 3 回です。救急車からの連絡を受ける救急担当医として、初期研修医への指導的役割と救急外来の司令塔的役割を担い、経験を積んでいただくことになります。

※これら以外にも、内科専門研修につきご不明な点がありましたらお問い合わせいただければ、回答させていただきますのでお気軽にお問い合わせください！

（問い合わせ先：E-mail kenshui@chubuh.johas.go.jp

担当：臨床研修センター事務 三田村）